

令和2年度 教育目標及び指導の方針と重点

学校経営

教育目標

知・徳・体の調和のとれた将来有為な人材の育成

方針

<めざす学校像>

地域に信頼される学校

重点

1 学校運営の重点

- (1) 指導の重点を共通理解し、各組織が機能的に連携する。
- (2) 生徒の帰属意識を高め、自尊感情を育成する指導を推進する。
- (3) 地域に根ざし地域と連携した、安心安全で特色ある学校づくりを推進する。
- (4) 広報活動を積極的に行い、地域に開かれた信頼される学校をめざす。

2 学習指導・教科指導等の重点

- (1) 授業の充実・授業改善 — 生徒が意欲的に取り組める授業の推進
ア 生徒の実態に合わせた、「主体的で対話的な深い学び」の展開
イ 「評価の可視化」「加点法による評価」「自己評価」— 評価の研究
ウ 「授業のユニバーサルデザイン化」— 目標を明確化し、どの生徒にも分かる授業
エ ICT機器活用の研究と推進
オ 規律の徹底と質的向上 — 落ち着いた雰囲気の中での効果的な授業
- (2) コミュニケーション能力の育成
ア 演劇表現ワークショップの実施と関連する科目等の研究
イ キャリア教育プログラムでのプレゼンテーション指導
ウ ICT機器等の活用とふるさと教育の充実による生徒の発信力を養う授業の推進
- (3) 外国人生徒等への支援 — 各学年に国際クラスを設置し日本語の習得を強化
ア 外国人生徒に対する指導と外国人生徒と日本人生徒が協働する活動の研究
イ 国際クラス、学校設定教科「日本語」の継続
ウ 外国人生徒の英語力を活用した外部発信・地域との連携
- (4) 進路希望に合わせた7類型
ア 類型の特色ある運用と充実（学習成果発表を含む）

3 生徒指導・特別活動指導の重点

- (1) 実社会で通用し、地域に信頼される人間の育成
ア 全職員の共通理解に基づく規範意識・道徳性・人権感覚を涵養させる指導
イ いじめ防止指導・情報モラル教育の充実
- (2) 生徒一人一人を大切にすする支援
ア 生徒一人一人の理解に基づき、人権等に配慮した支援の展開
- (3) 自己有用感と思いやりの心の育成
ア 生徒会活動・部活動・ボランティア活動の推進

4 進路指導の重点

- (1) キャリア教育の推進
ア 勤労観・職業観の育成 — 各学年の進路課題に対するガイダンス事業の展開
イ 進路課題を解決する力の育成— キャリア教育プログラムの充実
ウ 進路目標実現に向けてのスキルの習得 — 進学・就職指導の充実
エ 外部人材の活用 — P T A・町役場・国際たくみアカデミー・地域企業等との連携
- (2) 学力の向上 — 基礎学力の定着、卒業後の進路を見据えた指導
ア 授業を軸にした学習指導 — ドリル等の活用による基礎学力定着
イ 進路意識や学力を高めるための個に応じた指導 — 補習・外部模試・朝学習等の活用